



リシンク

この街から、Rethinkして未来を変えていく。



★ 街の課題を、考える。話し合う。

そこに住む方々、そこで働く方々、そしてそれを支える自治体の方々と一緒に。

それは、よりよい明日のために。

Rethinkフォーラムは、地域にゆかりのある方や、テーマにピッタリなゲストをお招きして、地域社会の課題解決に向けたディスカッションをする場。

★ ちょっとだけ視点を変えてみることで、違った景色が見えてくるかもしれません。

この先も、この街が魅力的で活気にあふれるように。一緒に、Rethinkしませんか？

リシンク
Rethink

視点を変えて考えること。


Rethink
PROJECT

テーマ

Rethink 宜野湾 ～地域の魅力発信～

Rethink 宜野湾～まちのウェルビーイング～（琉球新報社主催、RethinkPROJECT協賛）が8月上旬、那覇市で開催されました。宜野湾市は沖縄本島の中心部に位置し、豊かな自然と都市機能が共存する街です。沖縄コンベンションセンターなどを核にしたカルチャーの発信や、宜野湾はごろも祭りなど魅力あふれるコンテンツをさらに活用し、住む人・訪れる人が身体的・精神的・社会的に満たされるための街づくりの展望について、佐喜眞淳市長と市出身・在住の野原真麻さんと新たな視点で「Rethink」した座談会の要旨をご紹介します。



出席者

モデレーター


佐喜眞淳さん (宜野湾市長)

1964年生まれ。宜野湾市真志喜出身。千葉商科大学卒業。宜野湾市議や県議を経て、2012年の宜野湾市長選で初当選。2期目途中の18年8月まで務め、24年に再任。市政のキャッチフレーズは「宜野湾がいちばん」。


野原真麻さん (株式会社islandworks代表取締役)

1983年生まれ。宜野湾市出身。埼玉大学卒業。県外で就職後、2014年に沖縄に戻り、15年に第1子、17年に第2子を出産。18年に同社を起業し、24年に縫製工房「MAARU FACTORY」を設立。


柴田哲也さん (日本たばこ産業株式会社 沖縄支社長)

1974年生まれ。福岡県出身。福岡大学卒業。2010年入社。たばこ事業本部中国支社周南支店長、同支社山口第一支店長、九州支社営業企画部法人部長などを経て、24年10月から現職。


島洋子 (琉球新報社取締役統合広告事業局長)

1967年生まれ。沖縄市出身。琉球大学卒業。91年入社。編集局記者として政治部、経済部などに在籍。2013年東京報道部長、19年報道本部長、22年編集局長（のちに統合編集局長）を経て、24年より現職。



宜野湾市の西海岸地区

「**島**」宜野湾市を生活の基盤にしている方はもちろん、訪れた方も含めた身体的・精神的・社会的に満たされるウェルビーイング（WB）を実現する街づくりについて、施策をお聞かせください。

「**佐喜眞**」宜野湾市は沖縄本島の南北を結ぶ交通の要所として都市機能が発展してきました。それと同時に、西海岸の美しい海とサンセットを堪能できる、他にはないアーバンリゾートとしての魅力を持っています。本市の西海岸地区には宜野湾海浜公園、沖縄コンベンションセンター、宜野湾港マリナーなどの施設が集約し、周辺にリゾートホテルや大型商業施設などが立地していることで、プロ野球キャンプに代表されるスポーツイベント、アーティストによるライブなどのさまざまなイベントが開催されています。現在、8000人収容規模の屋外劇場も建設中であり、これらの施設を一体としてとらえた都市型観光拠点化に取り組めば、市民の皆さまも観光客も楽しめる、さらなるにぎわいを創出することができると考えています。

宜野湾海浜公園で行われる「はごろも祭り」は市を代表する一大イベントで、JTさんには2005年から会場で美化活動を行っていただいています。市民を代表して御礼申し上げます。

「**島**」既存施設の魅力をRethinkしてさらに磨き上げているんですね。

「**柴田**」西海岸地域の活性化は市民と観光客の双方にとっても、街のWBの観点からも欠かせないと考えています。特に宜野湾海浜公園は県内有数の広さを誇り、さまざまなイベントが開催され、毎年多くの方々がご利用されています。大勢の方々に集まっていたのはうれしい一方、例えばゴミ捨てなど悪影響が生じてしまうこともありません。

「**島**」「ひろえ」は街が好きになる運動（ひろ街）を展開して地域の美化活動を県内各地で実施しており、はごろも祭りもその一環として側方支援させていただいています。今年もご協力させていただく予定です。環境美化は観光地として重要です。まちの変化に合わせて生まれてくる困りごとに対し、その時々、必要と

「ウェルビーイングな街づくりの希望と期待」



宜野湾市の一イベント「はごろも祭り」

されるサポートをしていきたいと考えています。

「**島**」街がきれいだったということはWBそのものだと思います。市民の立場からはいかがですか。

「**野原**」宜野湾市は病院や学校、商業施設などが充実しており、特に子育ての面では利便性の高さを実感しています。宜野湾市といえば普天間飛行場という認知が主で、実際に基地負担による課題もありますが、この街に住み、関わる誰もが前向きな人生を描ける街になつてほしいと思っています。

私は特に女性の幅広い働き方を実現する組織・仕組みづくりやシングルマザーをはじめとした縫製技術研修を通じた就労支援など、地域の人を主役に地域還元率の高い産業を目指してアパレル業を営んでいます。多様な働き方の実現には、企業側が働く人の状況をよく理解し歩み寄り、組織風土が重要だと感じています。何歳からでも新しいキャリアの選択ができる支援をしたいと考えています。

「**島**」働き方についても、ライフステージに合わせてRethinkできる機会を提供しているんですね。

「**野原**」新たな魅力をRethinkするということ、それぞれの立場で取り組まれていることはあります。

「**佐喜眞**」現在、那覇市・浦添市・県内経済界と連携して「GW2050プロジェクト」を進めています。全県俯瞰的なグランドデザインを策定し、普天間飛行場・那覇港施設・牧港補給地区の機能分担により魅力的な沖縄の将来像を描くことで、早期の基地返還の実現、那覇空港の機能拡充と相乗的な振興・発展を目指す取り組みです。基地跡地利用の先行モデル地区として、西普天間住宅地区跡地においては、すべての市民が自然に健康になれる街づくりなど、沖縄健康医療拠点の形成に向けてさまざまな取り組みも行っております。

「新たな街の魅力を官民一体で創造する」

また、本市大山区の土地区画整理事業は今年度から開発計画の検討に着手したところです。さらに、新たに本市の西海岸地域のグランドデザインとその開発の方向性について検討することにも、今後市全体が発展するような連続性のある街づくりを目指していきます。

「**野原**」かりゆしウエアは県内で縫製された物という定義があり、県産品の代表格です。2020年から宜野湾市の特産品として認定されたオーダーメイド型のかりゆしウエアを製造しており、市内の紅型工房とパートナーを組んだり、アーティストとデザインをコラボしたりすることで、県外・海外に沖縄の文化やアイデンティティを発信する大切なツールでもあると思っています。

こうした、地域ならではの物づくりの仕組みとカルチャーの発信の両方を、宜野湾市からもっと多くしていけたらと思います。

「**柴田**」JTグループは、心豊かに生きるための「こさ」と向き合ってきました。どんなに時代が変わっても、私たちは、ここにある何気ない瞬間にも喜びを見つけれ、心の豊かさを大切にしたいと思っており、23年にグループパスを「心の豊かさを、もつ」としたところです。

「心の豊かさとは何か？」という問いに向き合い、新たな形でその価値を提供していく必要があると思っています。

「**つなかりの輪が街のかたちをつくる**」

「**島**」最後に、住む人も訪れる人も引きつける街づくりについてご意見をお聞かせください。

「**野原**」街に住む人それぞれが、互いに関心を持つことはWBの視点でもとても大事だと思っています。人は人では生きていきませんが、誰かを支えたり、誰かに支えてもらったり、お互い助け合って街の力を強くできればいいですね。

「**佐喜眞**」お二人のお話を聞き、人と人のつながり、そしてそのつながりと行動により、街は育っていくものという考え方に共感しました。加えますと、行政だけでは街づくりはできない。民間のノウハウや知恵を借りながら、丸となって取り組んでいくものです。

行政の役割はハード面・ソフト面の生活環境の整備を行っていく、本市のWBに貢献していくことです。取り組みを進めるため、宜野湾市で暮らす市民の方や市内に在勤・在学の方や、観光で訪れる方々など、本市に関係するさまざまな方々と接し、皆さまの視点でRethinkしながら、街のWBにつなげていく市政運営に努めていきたいとあらためて感じました。

「**柴田**」街は人が作るものであり、よりよい街とはそこに住む人々の意識や価値観に左右されるものです。Rethink PROJECTは「視点を変えれば世の中は変わる」をコンセプトに取り組んでおり、例えば「ひろ街」は、多くの方に「ご参加いただき、ごみを「ひろ」」と「すてない」気持ちを持ってもらうことを目的に続けています。何事も参加型・体験型であることが大切ではないか。参加することで視点が変わり、Rethinkにつながると思っています。

お二人のご意見のように、互いに助け合つてつながりと行動で街を育てていくお手伝いができれば幸いです。